



みず 水はいつどうやってできたの

ちきゅう くも 地球のまわりに雲ができた

ちきゅう いま やく おくねんまえ せい ちい せい かさ
地球は今から約46億年前、びわく星とよばれる小さなわく星の、たび重なるしょうとつ
により、誕生しました。誕生したばかりの地球にも、数えきれないほどの、びわく星がし
ょうとつしました。

しょうとつのエネルギーにより、ひょうめん おんど どスイーいじょう あ がんせき
らは、たいりょう すいじょうき にさんかたんそ はっせい
大量の水蒸気や、二酸化炭素などのガスが発生しました。

あつ ちきゅう ひ ひ ぐうきちゅう すいじょうき
熱かった地球は、だんだんと冷えていきました。冷えるにつれて、空気中にあった水蒸気
は、くもをつくりました。

やく おくねん まえ はじ あめ ふ 約39億年くらい前に、初めて雨が降った

くも あめ ふ はじ あめ ちひょう おんど さ おお くも
雲ができると、雨が降り始めました。その雨は地表の温度を下げ、さらに多くの雲をつく
り、たいりょう あめ ふ ちきゅう たんじょう やく おくねん
大量の雨を降らせたのです。これは、地球が誕生してから、約7億年ぐらいたってか
らでした。あめ ふ ちきゅう みず
雨が降るまでは、地球には水がありませんでした。この雨が、水の始まりになっ
たのです。

そして、たいふう どしゃぶ おおあめ ふ つづ ちきゅう みず
海ができました。そして、台風のような土砂降りの大雨が降り続き、地球のくぼみに水がたまって、
海ができました。

はじ うみ みず えんさん さん なが ねんげつ あいだ へんか
初めのころの海の水は、塩酸のような酸がとけこんだものでしたが、長い年月の間に変化
して、げんざい うみ
現在のような海になりました。（監修・国司 真）

